

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 キク科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

日当たりがよく湿った川原や草地に自生し、枝先に藤色を帯びた小さな花を密生させる。秋の七草の一つで万葉の時代から親しまれてきた。地下茎により繁殖力旺盛だが、自生に適した環境が失われ、今や絶滅危惧種。フジバカマと称してサワヒヨドリとの交配種も流通する。



Memo

秋になると、これから暖かい南方へ2000キロもの渡りをするアサギマダラが蜜を求め訪花する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期									■				
果 実		(花後、切り戻す)											
紅 葉													
施 肥													
剪 定						■						■	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○ 湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント


野性味が強く、肥料が多いと葉ばかり繁茂するが、水切れすると衰弱しやすい。地下茎による繁殖力旺盛なので植え付け周囲を仕切る必要がある。葉を乾燥させて揉（も）むと桜餅に似た芳香がする。

剪 定

繁殖力が強く大きく生長するので、地下茎が進出しないよう仕切る必要がある。草丈を抑えるには6月前後に1/3ほどに切り戻すとよい。脇芽を伸ばし株が充実し、秋にたくさんの花をつける。

病虫害

うどんこ病が発生することがある。コナジラミが媒介するウイルス病に感染すると、葉脈が黄変して株全体が委縮し枯れてくる。コジラミを駆除するとともに、病気になった株は早めに処分する。

呼べる蝶  [キタテハ](#)・[サツマシジミ](#)[キタキチョウ](#)
[ヒメアカタテハ](#)